

土砂災害防止月間 - 出水期への備え -

地球温暖化に伴う気候変動により熱帯低気圧が強まっている影響で大雨が頻発化し、土砂災害の増加や激甚化が懸念されています。災害はいつ、どんな形でやってくるかわかりません。いざというときに落ち着いて行動できるよう、日頃から家族などで検討、相談しておきましょう。詳しくは折り込みチラシをご覧ください。

日頃からの心構え

■ 自宅の災害リスクの確認

自宅の災害リスクを総合防災マップや防災アプリで確認し、とるべき行動を決めておきましょう。安全な場所にいる人は、必ずしも避難所に行く必要はありません。

■ 避難先の検討

可能な場合は、安全な親戚や知人の家、ホテル、旅館などへの避難も検討してください。

要配慮避難者等宿泊施設利用補助金

市から避難情報が発令され、妊産婦や高齢者など配慮が必要な避難者などが市内のホテルなどを避難先（福祉避難所）として利用した場合に、宿泊・移動費の一部を補助します。



ID: 0202361

■ 避難所・経路の事前確認

避難所までの経路はあらかじめ決めておき、日頃から安全に通行できるか確認しておきましょう。

■ 家庭備蓄

食料や飲料水などは最低7日分備蓄し、うち3日分は非常持ち出しとして用意しましょう。

■ 正確な情報収集を

市のお知らせやラジオやテレビなどからの気象情報には十分注意しましょう。

気象庁は、令和6年4月17日の豊後水道地震による地盤の緩みを考慮し、揺れの大きかった本市では大雨警報・注意報および土砂災害警戒情報の発表基準を通常の8割に引き下げて運用しています。

避難情報発令時の避難行動

■ 立退き避難

災害リスクのある区域の自宅や施設などにいると命が脅かされるおそれがあります。避難行動の基本として、その場を離れて避難所や安全な親戚・知人宅、ホテルなどに移動しましょう。

■ 屋内安全確保

安全のためには立退き避難が望ましいですが、洪水や高潮などは、自宅や施設などの上階への避難や高層階に留まることで計画的に身の安全を確保できる場合があります。ハザードマップなどを確認し、自らの判断で行動しましょう。

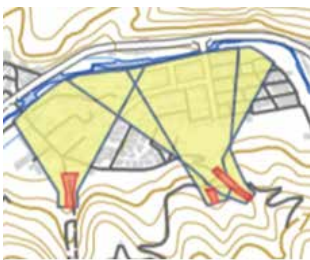
■ 緊急安全確保 ⚠ 急激に災害が切迫した場合

避難し遅れたために災害が発生、切迫し、安全に立退き避難ができない場合があります。その場合は、自宅や施設などの少しでも浸水しにくい高い場所に緊急的に移動したり近くの高い建物に移動するなど、危険から身の安全を可能な限り確保してください。

問 危機管理課危機管理係 ☎49-7006

避難対象区域（避難指示などの発令対象区域）

■土砂災害



▲土石流



▲急傾斜地

各災害の危険区域などは防災アプリ（伊達なうわじまホットナビ）で確認！



ID：0044263

- 土砂災害警戒区域：土砂災害のおそれがある
 - 土砂災害特別警戒区域：建物が破壊され、人命に大きな被害が生ずるおそれがある
- ※出典：えひめ土砂災害情報マップ

■洪水等水害

※浸水深50cm以上は原則立退き避難、浸水深50cm未満は原則屋内安全確保

※1日総雨量が1,000mmを超える場合は、下記の避難対象区域にさらに行政区が加わります。



ID：0051582

河川名	避難対象区域	
須賀川	浸水深50cm以上	【和霊校区】和霊中町2・3丁目、和霊町西通1区
	浸水深50cm未満	【天神校区】恵美寿町2丁目、鶴島町、和霊元町1～4丁目、朝日町1丁目、寿町1・2丁目 【和霊校区】和霊中町1丁目 【住吉校区】朝日町2～4丁目
岩松川	浸水深50cm以上	【岩松地区】三島拝高、御幸、栄町 【高田地区】教員住宅、うずしろ、久保津
	浸水深50cm未満	【岩松地区】浜田町、下本町一・二
立間川水系 立間川 国安川 河内川 本村川	浸水深50cm以上	【吉田地区】北小路1～3区、東小路1・2区、桜丁、西小路、御殿内1～4区 【喜佐方地区】鳥首、沖村中・上・下、東蓮寺谷、検校谷、河内中・上 【立間地区】寺家郷蔵、白井谷、中組、荒巻、柏木、東八反代、大河内下・上、医王寺下下・上・中、蔭竹城下、屋敷、引地雪森、中之谷
三間川	浸水深50cm以上	【成妙地区】曾根、成家、則、大藤 【三間地区】宮野下町、宮野下村、元宗、増田、土居中、迫目、務田 【二名地区】中野中、波岡、金銅、土居垣内、古藤田、大内、是延
	浸水深50cm未満	【二名地区】兼近

宇和島市土砂災害等避難訓練

災害が発生または発生するおそれがある場合に、適切な行動をとり被害を軽減させるため、宇和島市土砂災害等避難訓練を実施します。ぜひご参加ください。

- 日 6月2日(日) 午前8時30分～
- 場 市内全域



ID：5060602